

ホルター型心電図検査					S007
					担当部署
ホルター					生理
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→生理→心電図→ホルター心電図(24 時間)			
	2	電子カルテ→指示①→生理→心電図→ホルター心電図(左右逆付け誘導)			
	3	電子カルテ→指示①→生理→心電図→ホルター心電図(ブルガダ誘導)			
	4	電子カルテ→指示①→生理→心電図→ポータブル・ホルター心電図			
	5				
検査に影響する臨床情報		ジキタリスにより盆状の ST 低下がみられる。			
検査受付時間		8 : 45~17 : 30			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		1) 当日の入浴は不可。 2) 外来患者は翌日機器を取り外す為に来院してもらう。			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	人体(心臓)	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		ベッド可能			
検体受入不可基準		1)電極装着部位に創部がある患者 2)MRI や CT 検査時には装着不可 3)検査に同意を得られない患者			
保管検体の保存期間		特記事項なし			
<b>検査結果・報告</b>					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		3～7 日				
生物学的基準範囲		<p>* 報告内容</p> <p>[心拍数] 基本調律、1 日の総拍数、心拍数（最大・平均・最小）、最大 RR、最小 RR</p> <p>[不整脈解析結果] 心房細動・粗動の有無 上室性期外収縮：連発の有無と内容、PAT with block、blocked PAC、Aberration の有無 心室性期外収縮：Form(Mono or Multi)、連発の有無、R on T、VT の有無 房室ブロック { I°、II° (Wenckebach・Mobitz II)、高度、III° }</p> <p>洞性不整脈・洞停止の有無（2.0 秒以上の RR 間隔の回数） 補充収縮の有無（心房・接合部・心室）</p> <p>[ST 解析結果] ST 変化（上昇・低下）（最大・最小）</p> <p>[人工ペースメーカー] 出現率と種類（心房・心室・心房心室）</p> <p>*症状出現時の心電図変化</p>				
臨床判断値		該当なし				
基準値					単位	特記事項なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		<p>ホルター型心電図検査は、約 24 時間にわたる日常検査生活中の心電図を記録し、一過性に出現する不整脈や狭心症などを検出し、診断に役立てる検査である。</p> <p>①自覚症状と心電図変化の関係 ②不整脈の検出と重症度評価 ③不整脈治療後の定期チェック(抗不整脈薬の薬効評価やアブレーション治療後の評価) ④心筋虚血の検出とその重症度評価(特に冠攣縮性および無症候性心筋虚血の診断) ⑤ペースメーカーの作動評価 ⑥心拍変動による自律神経活動評価</p>				